

13026 学校カウンセリング a、b School Counseling		3 年次～ 通年 4 単位	
担当者	三澤 文紀	履修可能学科	Pe Pc
		関連資格	教職必(P e)
サブタイトル	学校カウンセリングの主要テーマを把握する		
授業内容 ・ ねらい	学校では、実に多種多様な事柄が問題となり、テーマとなります。この授業では、学校でのカウンセリングや教育相談に関する主要テーマを取り上げながら、学校におけるカウンセリング（教育相談）活動を概観します。学生の皆さんがこの授業に積極的に参加することで、教員が行う学校カウンセリング（教育相談）がどのようなものであるか、また主要テーマがどのようなもので、その背景と対応方法がどのようなものであるかについて、基礎となる知識や枠組を理解できるようになることが、この授業の目標です。		
授業計画	<p>次の各テーマを取り上げます。</p> <p>第1回 カウンセリングの基礎 クライエント中心療法を軸に、カウンセリングの基礎的な考え方や技法を学びます。</p> <p>第2～3回 学校カウンセリング（教育相談を含む）の基礎 カウンセリングと学校カウンセリングの違いを理解し、学校での相談活動について学びます。</p> <p>第4～7回 学級崩壊 現代の子どもの特徴を踏まえて、学級崩壊について学びます。</p> <p>第8～11回 いじめ いじめ当事者だけでなく、学級・学校全体を視野に入れた対応について学びます。</p> <p>第12～14回 発達に関する障害（軽度発達障害を中心に） アスペルガー障害、ADHD、LDを中心に、その特徴と基本的対応を学びます。</p> <p>第15～16回 前期のまとめと後期の概説 前期の内容を総括し、後期の内容を概説します。</p> <p>第17～20回 反社会的行動（非行） 様々な反社会的行動を例とともに、そのような行動に走る子どもへの理解を深めます。</p> <p>第21～24回 神経症 代表的な症状を概観し、基本的な対応について学びます。</p> <p>第25～29回 不登校 初期対応や長期対応の違いを含め、その基本的知識を学びます。</p> <p>第30回 総まとめ 全体の内容を総括します。</p> <p>※ 受講者の理解度に応じ、実施順や回数の変更、またはテーマの追加等を行うことがあります。</p>		
教科書 参考書	適宜、紹介します。		
評価方法	前後期ごとの期末テスト（期末レポート）60%、小テスト（小レポート）と要約発表等の課題40%の割合で評価します。ただし、遅刻、欠席、授業態度不良（特に私語）によって、減点されます。		
事前準備学習 履修条件等	グループによる活動や発表が多く、また年度途中で小テスト（または、小レポート）を度々課す授業であることに注意してください。		